

ぽけっとだより



2005年 4月号

お陰さまで支援センターができて2年目を迎えました。今では、はなまるなどの活動日以外にも5・6組のお母さんとお子さんに遊びに来て頂けるようになり、毎日賑やかに楽しく、そして、ずーずーしくもお手伝いを頼んだりして一緒に過ごしています。お母さん同士、お話しする中で大声で笑ったり、一緒に考えたり、グチを言い合ったり、そして「また来るね!」と手を振って笑顔で帰られるお母さんが何よりも大好きです。この支援センターでは一人ひとりのお子さんがいろいろな人の手で育てられ、みんなで支え合っている感じです。本当は一番支えてもらっているのは、私たちの方かもしれません。3月には別れがあって、この4月からはまた沢山のお母さんとお子さんの笑顔に出会えますように・・・ よろしくお願い致します。

リサイクルで
手作りおもちゃにチャレンジ!!

～カラフルいも虫のタオル掛け～
5月10日(火) 5月23日(月)
持参物 ・アクリルカラーロープ
(お弁当袋等に使う巾着のひもです)
こちらでも一応用意しています。
・透明テープ

はなまるの予定

通津公民館	11日(水)
	12日(木)
	17日(火)
支援センター	18日(水)
	19日(木)
	20日(金)

* 支援センターでははなまる*
完全予約制15組となっています。
センター内にて10時半より行います。

5月の活動予定

めりーくらぶ (乳児さん・妊婦さん)
～アドバイザーをお招きして楽しいお話をしましょう～
5月19日(木) 支援センター
13:30 ~ 15:00 *予約はいりません

チューリップくらぶ
5月24日(火)
～お外で遊ぼう～ 場所: 運動公園

はなまる準備デー
一緒に準備物を作りませんか?
5月26日(木) 5月30日(月)
10:00 ~ 12:00 支援センター内



～いのちのことば～



『育てたように 子は育つ』

～結局は、子どもたちは、育てたように育っていく、育っていつてくれる。そう信じられる親になりたい、大人になりたいと思う。親が子どもの心を知っているよりも、子どもは親の気持ちをずっとよく知っている～

『添い寝はいつまで?』

～子どもの気持ちを大切に! 性格や家庭環境で異なる「正解」～



「添い寝実践派」と「独り寝断行派」お母さんはどちらですか? 子どもの性格や親の仕事の状況・住宅環境など、家庭によって事情が異なるので「正解はない」と専門家は言っています。「子どもは階段を上がるように自立していくわけではありません。行きつ戻りつしながら親から離れていくものです。子どもの様子を見ながら、時には甘えたい気持ちも受け止めてあげ、親子が安心して気持ちよく眠れる事が大切」だそうです。

お母さんのお話の中にも「一人で寝かせるようにし始めてから、「頻繁にオシッコに行くようになった」とか「どもりが始まった」という声もありました。焦らなくてもいいのかもしれませんが、子どもの睡眠に詳しい医師も「添い寝は安心して眠るための儀式のようなもの、いつまで続けるかは子どもの性格や家庭の状況によって、それぞれの判断で」とアドバイスしています。子どもが一人で寝たいと言葉や態度で示した時がその時なのかもしれませんが、焦らずじっくり寂しがるときには甘えたい気持ちも受け止めてあげるようにしていきたいですね。実際は、親の方が疲れて早く寝てしまい、子どもに付き添ってもらっているのかもしれませんが・・・(筑読売(東京)朝刊 2005年1月31日(月))